

組合長ら3氏の不当解雇など、二年以上にわたり紛争

りに和労組に復帰した組合員に

の続いている財団法人和進会。

この十二月七日には、二年ぶ

りに和労組に復帰した組合員に

の続いている財団法人和進会。

第二組合員の陳述書が、実は労務

担当理事柴田国男が下書きを示し、

「()のとおりかけ」と指示して作

成させたものである事が明らかにさ

れ、解雇の不当性がますます明らか

となつてきました。にもかかわらず、

和進会理事会は、不当解雇を撤回せ

ぬばかりか、労務屋柴田をつかつて

「みせしめ配転」から「生休のとり

あげ」まで、その無法行為を一段と工

スカレート。

それなのに、この事態にも、和進会

の「理事」の任免権をもつ京大塚原病

院長は、未だに、事態を開拓するため

の何の具体的な責任ある行動もとらず、き

びしい批判の声があがっています。

17 対 1

昇格人事 デタラメ

理事会の相次ぐ無法行為で揺れる「新和労」組合員の動搖をとめるために、この十月二十七日には、十七対一(新和労十七、和労組一)という露骨な昇格級特進で一気に主任に「新和労」の組合長、書記長はそろつて「係長」に「昇進」しています。以前には、同じく「村八分」をデッヂあげた山田昭一(商店)元アルバイトが、三階級特進で売店係長に。和労組切りくずしの先頭にたち、中川ミドリさんを突き倒すなどの畜行を働いた給食事務吉田係長はなんと「理事」にとりたてられています。一方で食堂の池垣さんは、「副組合長だから」という理由で係長業務をハクダツされています。

生休の有給保障もとりあげ

昭和三十八年の春闘時に、労使で交した「生理休暇の有給保障」を、今になつて「春闘のときの協定は一年と解せられるから」とデーターメな言い分で、サギ的にとりあげようとしています。

この七月には、「女子職員生休取得状況一覧表」を男性を含む全職員に公表し、きびしい世間の指弾をあびたばかり。

高師理事長は「生休一覧表」の公表は「まちがつていないし、撤回もしない」「謝罪もない」と公然といなおり、生休をとる人を「みせしめ配転」にしています。

労使の確認ふみにじり、みせしめ配転

確認ふみにじり、みせしめ配転

和進会理事会は、配置転換にあ

たたっては、①事前に本人の了承を

える②組合の所属によつて差別

しない③異議があれば組合の意

見もきくと繰返し、確認してきました

が、この十月一日には、再びこの確認

を乱暴に踏みにじり、本人に配転の通

告をしたことをもつて「了承をえた」

とすりかえ、本人の生活状態や意見も

省りみず一方的に配転を強行しました

(日曜日休みの職場から日曜日出勤の職

場へ)。

しかも、労務屋柴田やその手下のグループは「みせしめで配転してやつた」と職場で吹聴してまわり、配転を組合つぶしの道具にしています。「私はハドメ役」と自ら認める塚原病院長が、この事態を再びくりかえさせないのかどうか、その態度をがきびしく問われています。

和進会高師理事長が、京大塚原病院長によつけていただけますよう心から訴えます。

抗議・要請の声を

京都市左京区製薬院川原町
京大塚原病院長 塚原 勇 同所
和進会理事長 高師嘉一
☎ 七五一一〇〇〇
☎ 七五一一四〇七〇

京大塚原病院長(和進会長)は

和進会高師理事長らの暴走をやめさせ

争議解決へ責任ある行動おこせ!